

市議会定例会令和6年11月通常会議

請 願 文 書 表

大 津 市 議 会

請 願 文 書 表 目 次

| 受理番号 | 件 名 | 付託委員会 | ページ |
|-------|--------------------------------------|-----------|-----|
| 請願第6号 | 大津市立逢坂保育園の休園を撤回し、早急に保育士確保を行うことを求める請願 | 教育厚生常任委員会 | 3 |

1. 受 理 番 号 請願第6号

2. 受 理 年 月 日 令和6年11月25日

3. 請 願 の 件 名

大津市立逢坂保育園の休園を撤回し、早急に保育士確保を行うことを求める
請願

4. 紹 介 議 員

杉浦 智子、林 まり、柏木 敬友子、小島 義雄、中川 哲也

5. 付 託 委 員 会 教育厚生常任委員会

6. 請 願 趣 旨 別紙のとおり

【別 紙】

[請願趣旨]

今年度当初、大津市の待機児童数は184名と過去最高となりました。希望する保育園に入れれないという子ども（隠れ待機児童）を含めると516人にのぼる深刻な状態です。一方で、大津市立保育園は、保育士不足のため定員の6割程度しか子どもを受け入れていません。

このような状況の下で、市は待機児童を減らすためにと「小規模で非効率」であることを理由として0歳から2歳児を対象とする市立逢坂保育園を来年度から期限を決めず休園する方針を示しました。これにより、在園児7名が転園を余儀なくされます。保護者からは説明会の後「一人一人に合わせた保育が安心感につながっていた。もっと通わせたかった」「休園の決定はあまりにも急。保護者や園児をないがしろにされていると感じる」と、憤りの声があがっていました。

逢坂保育園の休園は、「小規模で非効率」であることを理由としていますが、保育を効率・非効率というものさしではかることは、子どもの権利条約と児童福祉法の「子どもの最善の利益」に反するものであり、市民の福祉に寄与すべき市政が問われるものです。

大津市では公立保育園の保育士の給与が他市に比べて低く、年休が取りにくいなど働き続けることが大変な状況にあります。そのために中途離職者も増加しており、こうしたことが保育士不足を加速化させ、待機児童を増やしています。

子どもたちに豊かな保育を提供できるよう、大津市が独自で公立保育園保育士の抜本的な処遇改善を行い、保育士を増やして待機児童解消を目指すべきです。

以上の趣旨から以下の項目の実現を強く求め請願をいたします。

[請願項目]

- 1 大津市立逢坂保育園の休園を撤回すること。
- 2 公立保育園保育士の処遇改善を行い、公立保育園の保育士を増やすこと。